

2024年1月14日

「信仰の力を用いましょう」

イエス様の主権に信頼するという事は、どういう意味でしょうか。それはいつでもどこでもイエス様が主であることを信じ、信頼するという意味ではないでしょうか。しかし、昨日信じていた方を今日は信じられず、礼拝堂では信じていた方を会社では信じられず、幼い頃信じていた方を大人になってからは信じられない、ということもあります。それは、私たちの信仰に一貫性がないということです。

弟子たちは、自分たちの目の前で風や波がイエス様の命令に従うのを見ました。この方こそ、神であり、キリストでした。彼らが奇跡を目にしたのは、その時が初めてではありませんでした。しかし、彼らが乗った船が風と波によって揺れると、彼らの信仰も同じように揺らいだのです。そのため主は「まだ信じないのですか」と問われました。

シニア世代には、スマホを持っていても電話やメール以外の機能が良く分からず、使いこなせていない人がたくさんいます。先日、道を歩いていたときに、きれいな花があったので、「この花は何という名前だろう」と言うと、一緒にいた教会員が私のスマホで写真を撮って、花の名前を検索してくれました。その日、私は自分のスマホの素晴らしい機能を全く使えていなかったことを知りました。

神様は私たちに信仰という賜物を与えてくださいました。重要なのは、その信仰を用いて毎日を生きることです。今日、皆さんは、信仰の力を用いていますか。

月刊誌 リビングライフより

週報

§ 今年の教会テーマ
「主を仰ぎ見つつ」

§ 今年の主題聖句
「信仰の創始者であり完成者であるイエスから、
目を離さないでいなさい。」 ヘブル 12章2節

「彼らが主を仰ぎ見ると、彼らは輝いた。」 詩篇 34:5

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145(教会)

本日のメッセージ 「み言葉と聖霊によるリバイバル」
聖書 使徒 19:8~20

使徒の働きにはよく似た表現が繰り返し記されています。

19:20 こうして、主のことばは力強く広まり、勢いを得ていった。

6:7 こうして、神のことばはますます広まっていき、エルサレムで弟子の数が非常に増えていった。また、祭司たちが大勢、次々と信仰に入った。

神のみことばが大胆に伝えられるところに、聖霊は働かれ、癒しが奇跡がなされ、信じる者が多く起こされました。なぜならば、神のことばは生きていて力があるからです。

※ I ペテロ 1:23、ヘブル 4:6、I テサロニケ 2:13

主はパウロのみことばの宣教を、目覚ましい御業をもって祝福され、信じて多くに人が信仰に入りました。しかし、信じることもないのに同じようにしたスケワの息子たちは悪霊に襲われひどい目にあいました。

人々はこの状況を通して

1. 主を恐れる心を与えられ

イザヤ 6:1~8

箴言 22:4

2. 主にみ名をあがめるようになりました。

参考：ヨハネ 12:24

※その結果、既に信じていた人の中に、真実な悔い改めが与えられ、信仰がさらに聖別されました。 使 19:18-19

先週の「しもべ会（旧役員会）」の報告

- 元日の大地震で被災された能登地方の方々への支援のために協力献金を捧げる。捧げられた献金は現地での支援の働きに係わっているキリスト教関係の団体の活動のためにささげます。
- 講師として招いていた長沢先生の体調の悪化のため「新年特別集会」は中止となりましたが、4月中頃の日程であつたため特別集会をもてるように調整していく。
- ギデオン協会による「会話伝道」の学びについて
- 2月11日に「Z（10代20代の青年層）世代を巻き込む環境作り」という学び会がもたれますが、そのことについて説明。
- ラミーメンバの受洗についての道筋を検討すること

【報告】

※クリスマス献金に135,000円が捧げられました。全額をBFP（ブリッジ・フォ・ピース）に捧げました。

※ 昨日は今年最初の「パントリー」がなされ、16世帯に38食を届けることができました。